

第4 救 助

第1章 救助の概況

1 救助隊の範囲

昭和61年4月の消防法改正により救助隊が法的に位置付けられ、さらにこれを受けて同年10月に救助隊の編成、装備および配置の基準を定める省令（昭和61年10月1日自治省令第22号。以下「省令」という。）が公布（昭和62年1月1日施行）されたことに伴い、同省令に基づき市町村が配置する人命の救助を行うため必要な特別の救助器具を装備した消防隊を救助隊としている。

2 救助隊及び救助隊員

人口10万人以上の消防常備市町村には、省令の規定に基づき、特別救助隊が配置され、中核市等の消防常備消防市町村には、特別救助隊のうち1以上の高度救助隊が、また東京消防庁及び政令指定都市には、高度救助隊のうち1以上の特別高度救助隊が、それぞれ配置されている。（第1表参照）

第1表 救助隊数及び救助隊員数

（令和7年12月31日現在）

区分	救助隊数			救助隊員数		
	隊数	隊数		隊員数	隊員数	
		専任	兼任		専任	兼任
第2条	7	1	—	112	16	—
第4条	6	4	—	96	64	—
第5条	2	1	—	32	16	—
第6条	1	1	—	16	16	—

3 救助活動の状況

(1) 救助活動の範囲

調査の対象に当たって対象とした救助活動は、次のいずれにも該当する火災、災害又は事故により発生したものであること。

ア 要救助者の存在が予想され、しかも、その生命又は身体に現実の危険が及んでいるものであること。

イ 緊急に被害者を人力、機械力、器具等を用いて安全な場所に救出する必要があるものであること。

ウ 消防機関が行ったものであること。

(2) 救助活動状況の概要

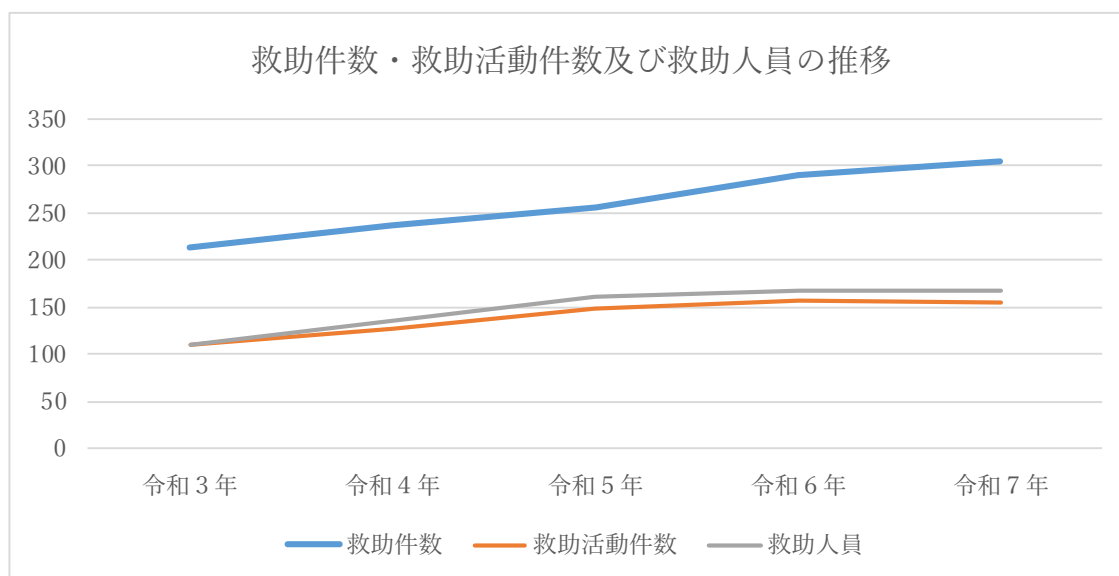
令和7年中における当市の救助活動状況は、救助件数306件（対前年比15件増、5.1%増）、救助活動件数155件（対前年比1件減、0.6%減）、救助人員158人（対前年比9人減、5.6%減）であり、救助件数は昨年より増加、救助活動件数及び救助人員数は、昨年より減少している。（第2表、第1図参照）

第2表 救助件数・救助活動件数及び救助人員の推移

	救助件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年比 (%)	件数	対前年比 (%)	人員	対前年比 (%)
令和3年	213	29.1	110	27.9	110	8.9
令和4年	237	11.3	126	14.5	135	22.7
令和5年	253	6.8	148	17.5	162	20.0
令和6年	291	15.0	156	5.4	167	3.1
令和7年	306	5.1	▲155	▲0.6	▲158	▲5.6

▲は、減を表す。

(件) 第1図 救助件数・救助活動件数及び救助人員の推移



(3) 事故種別ごとの救助活動状況

事故種別ごとの救助件数の内訳は、「火災」91件（対前年比21件増、30%増）、「交通事故」86件（対前年比5件増、6.1%増）、「水難事故」23件（対前年比3件増、15%増）、「建物事故」46件（対前年比5件増、12.1%増）、「ガス欠」1件（対前年比1件増、皆増）が増加する一方で、「機械事故」5件（対前年比4件減、44%減）、「その他事故」54件（対前年比16件減、22.8%減）は減少、「自然災害事故（風水害）」0件は前年と同数となっている。

事故種別ごとの救助活動件数の内訳は、「水難事故」18件（対前年比2件増、12.5%増）、「建物事故」30件（対前年比3件増、11.1%増）、「火災」12件（対前年比3件増、33.3%増）、「ガス欠」1件（対前年比1件増、皆増）は増加する一方で、「交通事故」50件（対前年比1件減、1.9%減）、「機械事故」4件（対前年比1件減、20%減）、「その他事故」40件（対前年比8件減、16.6%減）が減少、「自然災害事故（風水害）」0件は前年と同数となっている。

事故種別ごとの救助人員の内訳は、「交通事故」59人（対前年比1人増、1.7%増）、「水難事故」18人（対前年比3人増、20.0%増）は増加する一方で、「火災」12人（対前年比2人減、14.2%減）、「その他事故」39人（対前年比5人減、11.3%減）、「建物事故」26人（対前年比4人減、13.3%減）は減少、「機械事故」4人、「自然災害事故（風水害）」0人は昨年と同様となっている。（第3表参照）

第3表 事故種別救助活動状況

（令和7年1月1日～令和7年12月31日）

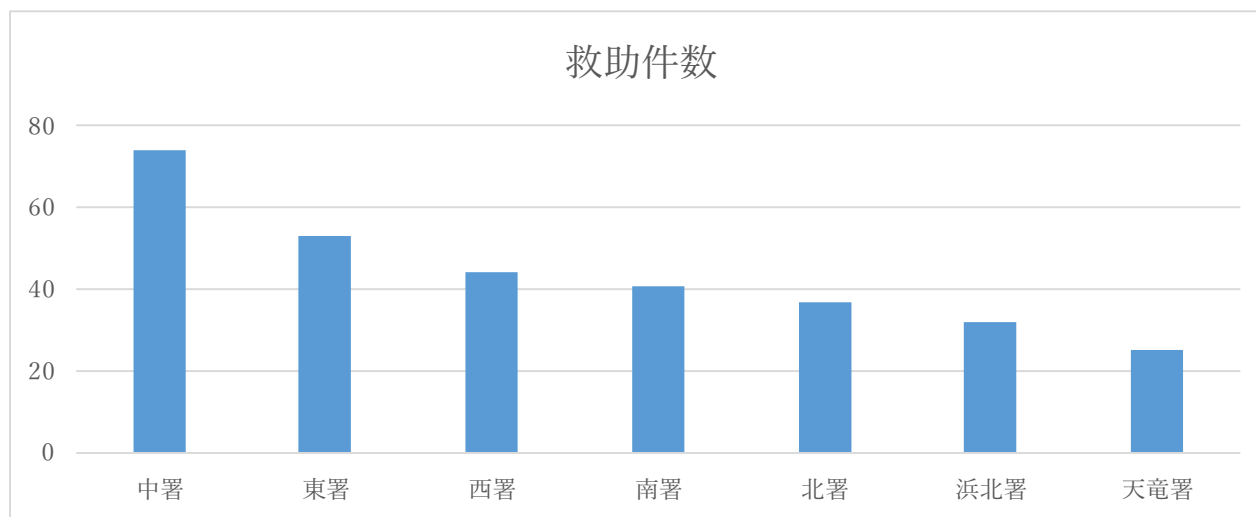
事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械事故	建物事故	ガス酸欠事故	破裂・爆発事故	その他事故	合計
救助件数 (件)	91	86	23	—	5	46	1	—	54	306
救助活動件数 (件)	12	50	18	—	4	30	1	—	40	155
救助人員 (人)	12	59	18	—	4	26	—	—	39	158

(4) 管内別の救助件数状況

各消防署管内の救助件数は、中消防署管内 74 件 24.2%、東消防署管内 53 件

17.3%、西消防署管内 44 件 14.3%、南消防署管内 41 件 13.3%、北消防署管内 37 件 12%、浜北消防署管内 32 件 10%、天竜消防署管内 25 件 8%となっている。(第 2 図参照)

第 2 図 管内別の救助件数状況 (件)
(令和 7 年 1 月 1 日～令和 7 年 12 月 31 日)



4 救助件数における救助隊配置について (分析)

令和 7 年中における救助件数について、交通事故件数の最多は、東消防署管内の 22 件で、次いで北消防署の 17 件となっている。交通事故件数については、人口比率等に比例することがなく、交通事情に左右されるため、数値的根拠を見出すことは困難であるが、各隊の活動件数の誤差は数件であるため、救助隊の適正配置がなされていると考える。

建物事故件数にあつては、最多は、中消防署管内の 19 件で、次いで南消防署管内の 9 件となっている。建物事故発生件数の多い、中消防署管内は、人口比率が市内で最も高い地域であり、建物件数が非常に多い管内であるため建物事故件数が多いと考える。

水難事故件数の最多は、西消防署管内の 8 件となっている。その中で、西消防署に配置されている救助隊は、当局唯一の水中検索救助に特化した部隊であり、浜名湖や沿岸部を管轄としているため西消防署に配置している。

その他事故の最多件数は、管内に山間部を管轄する天竜消防署が 13 件であり、その多くは山岳救助事案である。

署別救助件数の最多は、中消防署管内 74 件であり、次いで南消防署管内の 41 件となっている。

以上のことから、市民サービス (安全・安心) の観点から救助隊の配置については妥当であると考えますが、今後の救助件数の動向に注視しながら、市民の期待に力強く応えるよう、当局の救助部隊の適正配置を図っていく。

5 救助隊員の教育訓練の実施状況

消防職員の救助活動に関する教育訓練については、浜松市警防規程により、人命救助技術及び救助資機材の使用向上を図る訓練等を実施し、必要に応じて訓練効果の確認を行い、救助活動の向上に反映させるべきこととされている。(表4表参照)

第4表 救助訓練実施状況表

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

		総数	月別											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	回数	3,247	210	184	231	332	352	310	283	298	273	290	229	255
	人員	14,520	889	772	1,009	1,621	1,925	1,448	1,246	1,222	1,111	1,175	1,004	1,098
	時間	4,948	293	272	369	590	739	483	374	365	374	365	336	390
体力練成訓練	回数	644	39	35	56	56	53	62	58	64	69	59	43	50
	人員	2,812	155	146	248	290	295	276	249	266	243	221	196	227
	時間	651	40	35	56	56	54	60	60	63	62	54	43	68
ロープ基本・応用訓練	回数	198	16	8	12	16	6	10	42	15	17	19	14	23
	人員	844	70	31	59	64	25	54	183	44	77	75	62	100
	時間	304	22	11	23	18	13	19	64	16	23	22	18	56
検索・救助訓練	回数	1,149	53	63	82	174	218	133	83	73	64	78	67	61
	人員	5,429	226	268	354	839	1,274	681	367	308	253	315	282	262
	時間	2,313	84	115	162	396	591	287	118	103	113	115	129	102
各種救助器具取扱い訓練	回数	596	31	29	29	51	38	83	44	66	55	74	48	48
	人員	2,460	136	110	122	246	161	337	171	263	219	297	210	188
	時間	617	41	34	41	71	33	80	40	63	46	73	54	44
各種救助事象想定訓練	回数	299	48	22	28	15	17	10	29	26	28	35	13	28
	人員	1,365	214	97	119	75	81	51	149	113	124	154	57	131
	時間	524	75	37	51	23	26	21	53	37	64	64	18	57
その他の訓練	回数	361	23	27	24	20	20	12	27	54	40	25	44	45
	人員	1,610	88	120	107	107	89	49	127	228	195	113	197	190
	時間	540	31	41	37	27	22	17	41	83	66	38	74	64

1訓練を2署以上で実施した場合、各署でそれぞれの分類に回数、人員、時間を計上することとする。

1訓練で複数の訓練を実施した場合は、それぞれの分類に回数、人員、時間を計上することとする。

6 国際消防救助隊の活躍

昭和61年、海外で大規模災害が発生した場合に人道上及び国際協力推進の観点から世界のトップレベルにある我が国の消防機関の救助隊を迅速に派遣する体制を整備することとし、国際消防救助隊(International Rescue Team of Japanese Fire-Service 略号‘IRT-JF’愛称‘愛ある手’)を総務省消防庁が発足させた。

その後、外務省が中心となり、海外における大規模災害に対し、被災国政府の要

請に応じ、緊急援助活動を行うため、昭和 62 年 9 月に「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」を制定した。

国際消防救助隊は、同法に基づく国際緊急援助隊の一部を構成するものであり、令和 7 年 4 月現在、全国 77 消防本部 599 名の隊員が登録（当局では、11 人が登録）されており、派遣に即応できる体制（派遣当番日第 1 順位：毎月 25 日及び 26 日、第 2 順位：毎月 27 日及び 28 日）を常時確保している。

国際緊急援助隊派遣実績はこれまで 22 回にわたり派遣されており、当局における派遣は、平成 27 年 4 月 26 日から平成 27 年 5 月 9 日まで、ネパール連邦共和国において発生した地震災害に 3 人の職員を派遣した。

救助関係

1 救助活動の状況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

種別	総数	火災時救助活動			救助活動										
		建物	建物以外		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械事故	建物事故	ガス酸欠事故	破裂・爆発事故	その他事故			
出動活動人員・車両															
出動件数	306	91	72	19	215	86	23	0	5	46	1	0	54		
活動件数	155	12	12	0	143	50	18	0	4	30	1	0	40		
救助人員	158	12	12	0	146	59	18	0	4	26	0	0	39		
出動活動人員	計	出動人員	9725	6033	5059	974	3692	1374	736	0	77	689	17	0	799
		活動人員	1605	124	124	0	1481	444	323	0	28	243	11	0	432
	救助隊員	出動人員	1676	753	625	128	923	344	157	0	19	204	4	0	195
		活動人員	463	48	48	0	415	132	79	0	6	74	4	0	120
	消防隊員	出動人員	4494	2577	2148	429	1917	623	467	0	40	347	7	0	433
		活動人員	956	70	70	0	886	223	231	0	22	142	7	0	261
	救急隊員	出動人員	1126	295	265	30	831	407	91	0	18	138	6	0	171
		活動人員	185	6	6	0	179	89	12	0	0	27	0	0	51
	消防団員	出動人員	2427	2406	2019	387	21	0	21	0	0	0	0	0	0
		活動人員	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
参集者	出動人員	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
出動活動車両	計	出動台数	2303	1201	1012	189	1102	419	202	0	23	202	5	0	251
		活動台数	474	32	32	0	442	135	90	0	9	69	3	0	136
	工作車	出動台数	461	193	162	31	268	104	42	0	5	55	1	0	61
		活動台数	131	12	12	0	119	40	21	0	2	19	1	0	36
	ポンプ車 (タンク車)	出動台数	772	510	422	88	262	85	63	0	7	47	1	0	59
		活動台数	123	14	14	0	109	28	27	0	4	17	1	0	32
	はしご車	出動台数	27	23	21	2	4	0	0	0	0	4	0	0	0
		活動台数	2	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0
	化学車	出動台数	43	24	21	3	19	9	5	0	0	1	0	0	4
		活動台数	8	2	2	0	6	3	0	0	0	0	0	0	3
	指揮車	出動台数	318	98	78	20	220	86	27	0	5	46	1	0	55
		活動台数	113	2	2	0	111	34	17	0	3	22	1	0	34
	救急車	出動台数	370	98	88	10	272	134	29	0	6	46	2	0	55
		活動台数	60	2	2	0	58	29	4	0	0	9	0	0	16
	船舶	出動台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		活動台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘリコプター	出動台数	18	0	0	0	18	0	9	0	0	0	0	0	9
		活動台数	18	0	0	0	18	0	9	0	0	0	0	0	9
	その他	出動台数	51	13	11	2	38	1	26	0	0	3	0	0	8
		活動台数	18	0	0	0	18	1	11	0	0	0	0	0	6
消防団	出動台数	243	242	209	33	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
	活動台数	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	

2 事故発生場所別

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

発生場所別		種別	総数	火災時救助活動			救助活動								
				建物	建物以外		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械事故	建物事故	ガス酸欠事故	破裂・爆発事故	その他事故	
発生場所別	総数	出動件数	306	91	72	19	215	86	23	0	5	46	1	0	54
		活動件数	155	12	12	0	143	50	18	0	4	30	1	0	40
		救助人員	158	12	12	0	146	59	18	0	4	26	0	0	39
屋内	住居	出動件数	83	46	46	0	37	0	0	0	0	31	1	0	5
		活動件数	38	11	11	0	27	0	0	0	0	22	1	0	4
		救助人員	33	11	11	0	22	0	0	0	0	18	0	0	4
	その他屋内	出動件数	33	22	20	2	11	0	0	0	4	5	0	0	2
		活動件数	5	0	0	0	5	0	0	0	3	1	0	0	1
		救助人員	5	0	0	0	5	0	0	0	3	1	0	0	1
屋外	高速自動車道路	出動件数	7	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0
		活動件数	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0
		救助人員	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	その他道路	出動件数	70	2	0	2	68	66	0	0	0	0	0	0	2
		活動件数	38	0	0	0	38	38	0	0	0	0	0	0	0
		救助人員	47	0	0	0	47	47	0	0	0	0	0	0	0
	内水面	出動件数	21	0	0	0	21	1	16	0	0	0	0	0	4
		活動件数	19	0	0	0	19	1	14	0	0	0	0	0	4
		救助人員	18	0	0	0	18	1	13	0	0	0	0	0	4
	外水面	出動件数	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0
		活動件数	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0
		救助人員	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0
山岳	出動件数	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	
	活動件数	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	
	救助人員	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	
その他屋外	出動件数	70	18	6	12	52	12	2	0	1	9	0	0	28	
	活動件数	37	1	1	0	36	8	1	0	1	6	0	0	20	
	救助人員	36	1	1	0	35	8	1	0	1	6	0	0	19	
地下	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	活動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	出動件数	14	3	0	3	11	0	2	0	0	1	0	0	8	
	活動件数	9	0	0	0	9	0	1	0	0	1	0	0	7	
	救助人員	8	0	0	0	8	0	1	0	0	1	0	0	6	

救助活動状況署別件数

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

		合計 (内管外)								
			中	東	西	南	北	浜北	天竜	
出動件数		306 (4)	74	53	44	41	37	32	25	
活動件数		155 (2)	40	24	17	20	23	14	17	
救助人員		158 (1)	36	24	20	20	25	14	19	
火災時救助活動	建物	出動件数	91	26	15	17	14	11	5	3
		活動件数	12	4	1		3	3		1
		救助人員	12	4	1		4	2		1
	建物以外	出動件数	72	23	14	10	8	10	4	3
		活動件数	12	4	1		3	3		1
		救助人員	12	4	1		4	2		1
	建物以外	出動件数	19	3	1	7	6	1	1	
		活動件数								
		救助人員								
救助活動	交通事故	出動件数	215 (4)	48	38	27	27	26	27	22
		活動件数	143 (2)	36	23	17	17	20	14	16
		救助人員	146 (1)	32	23	20	16	23	14	18
	水事難事故	出動件数	86 (1)	14	22	8	9	17	12	4
		活動件数	50	9	12	3	5	12	6	3
		救助人員	59	12	12	5	5	15	6	4
	風水自然	出動件数	23 (3)	2	6	8		1	3	3
		活動件数	18 (2)	2	3	7		1	2	3
		救助人員	18 (1)	1	3	8		1	2	3
	機械事故	出動件数								
		活動件数	5	1			3			1
		救助人員	4				3			1
	建物事故	出動件数	4				3			1
		活動件数	46	19	4	4	9	1	8	1
		救助人員	30	15	3	3	3	1	4	1
	ガス欠	出動件数	26	11	3	3	3	1	4	1
		活動件数	1				1			
		救助人員	1				1			
	破事故	出動件数								
		活動件数								
		救助人員								
その他事故	出動件数	54	12	6	7	5	7	4	13	
	活動件数	40	10	5	4	5	6	2	8	
	救助人員	39	8	5	4	5	6	2	9	

過去10年間の救助出動種別構成比

事故別	年別		平成28年		平成29年		平成30年		平成31年 (令和元年)		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
出動件数	236		251		233		205		165		213		237		253		291		306			
事故種別	火災時救助活動	67	28.4%	81	32.3%	84	36.1%	81	39.5%	50	30.3%	74	34.7%	82	34.6%	68	26.9%	70	24.1%	91	29.7%	
	建物	60	89.6%	74	91.4%	76	90.5%	67	82.7%	44	88.0%	68	91.9%	71	86.6%	66	97.1%	59	84.3%	72	79.1%	
	建物以外	7	10.4%	7	8.6%	8	9.5%	14	17.3%	6	12.0%	6	8.1%	11	13.4%	2	2.9%	11	15.7%	19	20.9%	
	救助活動	169	71.6%	170	67.7%	149	63.9%	124	60.5%	115	69.7%	139	65.3%	155	65.4%	185	73.1%	221	75.9%	215	70.3%	
	交通事故	78	46.2%	80	47.3%	68	40.2%	42	24.9%	45	26.6%	51	30.2%	45	26.6%	70	41.4%	81	47.9%	86	40.0%	
	水難事故	15	8.9%	19	11.2%	20	11.8%	21	12.4%	10	5.9%	17	10.1%	19	11.2%	22	13.0%	20	11.8%	23	10.7%	
	自然災害事故	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	6	3.6%	3	1.8%	—	0.0%	—	0.0%	
	機械事故	14	8.3%	15	8.9%	7	4.1%	8	4.7%	7	4.1%	8	4.7%	4	2.4%	3	1.8%	9	5.3%	5	2.3%	
	建物事故	27	16.0%	23	13.6%	21	12.4%	24	14.2%	21	12.4%	18	10.7%	37	21.9%	38	22.5%	41	24.3%	46	21.4%	
	ガス酸欠事故	2	1.2%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	1	0.6%	—	0.0%	—	0.0%	1	0.5%	
破壊・爆発事故	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%		
その他事故	33	19.5%	33	19.5%	33	19.5%	29	17.2%	32	18.9%	45	26.6%	43	25.4%	49	29.0%	70	41.4%	54	25.1%		
救助隊数 ※1	7隊		7隊		7隊		7隊		7隊		7隊		7隊		7隊		7隊		7隊			
浜松市人口 ※2	807,932		807,192		804,931		802,792		800,117		796,328		793,198		789,478		784,525		747,672			

※1 平成28年度から西消防署に救助隊を配置し、救助隊数は7隊となる。

※2 各年12月1日現在とする。(浜松市総務部文書行政課の行政区別世帯数人口による)

救助隊車両配置及び諸元

(令和7年12月31日現在)

隊名 装備等	中特別高度救助隊	南高度救助隊	東特別救助隊	北特別救助隊	
				E R	A R
配置場所 登録年月日 艀装メーカー	中消防署 鴨江出張所 R7. 1. 20 (株) モリタ	南消防署 本署 H29. 2. 20 (株) モリタ	東消防署 上石田出張所 H25. 2. 18 (株) モリタ	北消防署 本署 H25. 3. 18 帝商株	
シャーシ 全長 全幅 全高 総重量	日野 2KG-GX2ABA 8,160mm 2,360mm 3,180mm 11,990kg	日野 SDG-GX7JAA改 7,800mm 2,330mm 3,160mm 11,440kg	日野 SDG-GX7JAA改 7,690mm 2,300mm 3,150mm 10,820kg	日野 TKG-XZU685M 5,980mm 2,020mm 2,700mm 6,065mm	日野 TKG-XZU685M 5,980mm 2,020mm 2,620mm 6,065mm
エンジン 総排気量 最大出力 最大トルク 燃料	5,120cc 177kw 794Nm 軽油	6,400cc 162kw 574Nm 軽油	6,400cc 162kw 574Nm 軽油	4,000cc 110kw 392Nm 軽油	4,000cc 110kw 392Nm 軽油
フロントウインチ 最大引張力 安全装置 動力	5,500kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O	5,000kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O	5,000kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O	4,100kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O	4,100kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O
リアウインチ 最大引張力 安全装置 動力	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	/	/
発電照明装置 発電装置 投光器伸縮装置 投光装置 動力	単相 100v 支柱 4段 旋回角度 360度 LEDランプ 1500w×2 自車 P. T. O	単相 100v 支柱 4段 旋回角度 360度 LEDランプ 2000w×2 自車 P. T. O	単相 100v 支柱 4段 旋回角度 360度 LEDランプ 1200w×2 自車 P. T. O	単相 100v 支柱 段 旋回角度 360度 LEDランプ 1000w×2 自車 P. T. O	/
クレーン装置 クレーン容量 ブーム段数 最大地上揚程 最大作業半径	2.93t×2.7m 3段 約9.2m 7.5m	2.93t×2.6m 3段 約9.0m 7.0m	/	/	/
緊急消防援助隊登録	○	○		○	○
総務省消防庁無償貸与車両				○	○

救 助 隊 車 両 配 置 及 び 諸 元

(令和7年12月31日現在)

隊名 装備等	浜北特別救助隊	天竜特別救助隊		西救助隊	非常用救助工作車
		R	P R		
配 置 場 所 登録年月日 艀装メーカー	浜北消防署 本 署 R2. 1. 23 (株) モリタ	天竜消防署 本 署 H22. 12. 16 (株) モリタ		西消防署 本 署 H30. 3. 25 (株) モリタ	東消防署 本 署 H10. 2. 23 (株) モリタ
シャーシ 全長 全幅 全高 総重量	日野 2KG-GX2ABA 7,840mm 2,300mm 3,180mm 11,550kg	日野 BDG-XZU378M 5,610mm 1,900mm 2,760mm 5,730kg	日野 BDG-XZU378M 5,630mm 1,890mm 2,720mm 5,585kg	日野 2PG-GX2AGBF 6,865mm 2,230mm 2,615mm 6,000kg	日野 KC-GDIJGBA改 7,770mm 2,300mm 3,240mm 9,090kg
エンジン 総排気量 最大出力 最大トルク 燃料	5,120cc 177 k w 794N m 軽油	4,000cc 110 k w 392N m 軽油	4,000cc 110 k w 392N m 軽油	5,123 c c 177 k w 794N m 軽油	7,960cc 215kw 570N m 軽油
フロントインチ 最大引張力 安全装置 動力	5,000kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O	/	/	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	5,000kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O
リアインチ 最大引張力 安全装置 動力	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	/	/	/
発電照明装置 発電装置 投光器伸縮装置 投光装置 動力	単相 100v 支柱 4段 旋回角度 360度 LEDランプ 2000w×2 自車 P. T. O	単相 100v 支柱 2段 旋回角度 360度 メタルハイトランプ 150w×2 自車 車載バッテリー	単相 100v 支柱 2段 旋回角度 360度 メタルハイトランプ 150w×2 自車 車載バッテリー	単相 100v 支柱 2段 旋回角度 360度 LED 90w×4 自車 車載バッテリー	単相 100v 支柱 5段 旋回角度 350度 メタルハイトランプ 1800w×2 自車 P. T. O
クレーン装置 クレーン容量 ブーム段数 最大地上揚程 最大作業半径	2.93 t×2.6m 3段 約9.0m 7.0m	/	/	/	/
緊急消防援助隊登録	○				
総務省消防庁無償貸与車両					

救助用資器材配備状況

別表1 (一般・特別・高度・特別高度救助隊対象)

(令和7年12月31日現在)

分類	救助隊区分 資機材名	一般		特別					高度		特高		合計
		整備 区分	西	整備 区分	東	北	浜北	天竜	整備 区分	南	整備 区分	中	
一般 救助 用 器 具	かぎ付はしご	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	三連はしご	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	金属製折りたたみはしご 又はワイヤはしご	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	空気式救助マット	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	救命索発射銃	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	平担架	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	ロープ (各種)	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	カラビナ	○	20	○	20	20	20	20	○	20	○	20	140
滑車	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35	
重量物 排除 用 器 具	油圧ジャッキ	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	油圧スプレッダー	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	可搬式ウインチ	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	ワイヤーロープ	○	2	○	2	2	2	2	○	2	○	2	14
	マンホール救助器具	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	救助用簡易起重機	△	—	△	—	—	—	—	△	—	△	—	0
切断 用 器 具	油圧切断機	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	エンジンカッター	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	ガス溶断器	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	チェーンソー	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	鉄線カッター	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
破壊 用 器 具	万能斧	○	2	○	2	2	2	2	○	2	○	2	14
	ハンマー	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	携帯用コンクリート破壊器具	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
検知・ 測定 用 器 具	生物剤検知器	△	—	△	—	—	—	—	△	—	○	6	6
	化学剤検知器	△	—	△	—	—	—	—	△	—	○	6	6
	可燃性ガス測定器	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	有毒ガス測定器	△	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	酸素濃度測定器	△	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	放射線測定器	△	—	○	1	1	1	1	○	1	○	57	62
呼吸 保 護 用 器 具	空気呼吸器 (予備ボンベ含む)	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	空気補充用ボンベ	△	—	△	—	—	—	—	△	—	△	—	0

別表1 (一般・特別・高度・特別高度救助隊対象)

分類	救助隊区分 資機材名	一般		特別				高度		特高		合計	
		整備 区分	西	整備 区分	東	北	浜北	天竜	整備 区分	南	整備 区分		中
隊員 保護 用器具	皮手袋	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	耐電手袋	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	安全帯	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	防塵メガネ	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	携帯警報器	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	防毒マスク	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	化学防護服(陽圧式除く)	△	—	○	2	2	2	2	○	2	○	13	23
	陽圧式化学防護服	△	—	○	5	5	5	5	○	5	○	5	30
	耐熱服	△	—	△	2	2	2	2	△	2	△	2	12
	放射線保護服(個人線量計含む)	△	—	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
検査用 器具	簡易画像探索器	△	—	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
除染用 器具	除染シャワー	△	—	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	除染剤散布器	△	—	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
水難 救助 用器具	潜水器具一式	△	10	△	—	—	—	—	△	—	△	—	10
	流水救助器具一式	△	5	△	5	5	5	5	△	5	△	5	35
	救命胴衣	△	5	△	5	5	5	5	△	5	△	5	35
	水中投光器	△	5	△	—	—	—	—	△	—	△	—	5
	救命浮環	△	3	△	2	2	2	2	△	2	△	2	15
	浮標	△	1	△	—	—	—	—	△	—	△	—	1
	救命ボート	△	1	△	1	1	1	1	△	1	△	1	7
	船外機	△	1	△	1	1	1	1	△	1	△	1	7
	水中スクーター	△	1	△	—	—	—	—	△	—	△	—	1
	水中無線機	△	1	△	—	—	—	—	△	—	△	—	1
	水中時計	△	5	△	—	—	—	—	△	—	△	—	5
	水中テレビカメラ	△	1	△	—	—	—	—	△	—	△	—	1
山岳 救助 用器具	登山器具一式	△	—	△	—	—	—	1	△	1	△	—	2
	バスケット担架	△	—	△	1	1	1	1	△	1	△	1	6
その 他の 救助 用器具	投光器一式	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	携帯投光器	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	携帯拡声器	○	2	○	2	2	2	2	○	2	○	2	14
	携帯無線機	○	2	○	2	2	2	2	○	2	○	2	14
	応急処置用セット	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	車両移動器具	△	—	△	1	1	1	1	△	1	△	1	6
	その他の携帯救助工具	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7

別表2（特別・高度・特別高度救助隊対象）

分類	救助隊区分 資機材名	一般		特別				高度		特高		合計	
		整備 区分	西	整備 区分	東	北	浜北	天竜	整備 区分	南	整備 区分		中
重量物 排除 器具	マット型空気ジャッキ一式	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	大型油圧スプレッダー	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	救助用支柱器具	/	—	△	1	1	1	1	△	2	△	1	7
	チェーンブロック	/	—	△	1	1	1	1	△	1	△	1	6
切断用 器具	空気鋸	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	大型油圧切断機	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	空気切断機	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	/	—	△	—	1	—	—	△	1	△	1	3
破壊用 器具	削岩機	/	—	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	ハンマドリル	/	—	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
呼吸保 護用 器具	酸素呼吸器	/	—	○	5	5	5	5	○	5	○	5	30
	簡易呼吸器	/	—	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
	防塵マスク	/	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	送排風機	/	—	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	エアラインマスク	/	—	△	—	—	—	1	△	—	△	1	2
隊員保 護用 器具	耐電衣	/	—	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
	耐電ズボン	/	—	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
	耐電長靴	/	—	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
	特殊ヘルメット	/	—	△	—	—	—	—	△	—	△	—	0
その他 の救 助用 器具	緩降機	/	—	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	ロープ登降機	/	—	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	救助用降下機	/	—	△	—	—	—	—	△	—	△	—	0
	発電機	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7

別表3（高度・特別高度救助隊対象）

分類	救助隊区分 資機材名	一般		特別				高度		特高		合計	
		整備 区分	西	整備 区分	東	北	浜北	天竜	整備 区分	南	整備 区分		中
高度救 助用 器具	画像探索機	/	—	/	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	地中音響探知機	/	—	/	1	—	—	1	○	1	○	1	4
	熱画像直視装置	/	—	/	1	1	2	1	○	1	○	1	7
	夜間用暗視装置	/	—	/	1	1	—	1	○	1	○	1	5
	地震警報器	/	—	/	—	1	—	—	○	1	○	1	3
	電磁波探査装置	/	—	/	—	1	—	—	△	—	○	1	2
	二酸化炭素測定装置	/	—	/	—	1	—	—	△	—	○	1	2
	水中探査装置	/	—	/	—	—	—	—	△	—	○	1	1
	検知型遠隔探査装置	/	—	/	—	—	—	—	△	—	△	—	0

凡例

【救助隊区分】
「一般」省令 2 条救助隊・・・西救助隊
「特別」省令 4 条救助隊・・・東、北、浜北、天竜特別救助隊
「高度」省令 5 条救助隊・・・南高度救助隊
「特高」省令 6 条救助隊・・・中特別高度救助隊
【資機材整備区分】
○・・・必須整備
△・・・地域の実情により整備
／・・・整備義務対象外（自主整備可能）